

## 天文学診断テスト その 12 ( 幻の最終回 )



仲野 誠

「2005 年夏からこのシリーズを始めて、早 3 年が経ってしまいました。」という原稿の書き出しのみがパソコンの中で眠っていました。この天文学診断テストは当時の甲斐編集長の求めに応じて、大分大学での一般教養の講義の最初の時間に行なったアンケート問題 ( 21 題 ) を解説と共に紹介していったものです。2 年以上前に 11 回まで書き続けてから、中断してしまいました。あと 1 回でおしまいだったので、最後の締めにおつきあいください。

実は最後の問題は直接には天文学ではないのですが、

-----  
21. 地球温暖化は何によって起こると考えられるでしょうか？

- A. オゾン層の破壊
- B. 窒素による熱の蓄積
- C. 二酸化炭素の増加

-----  
というものです。実は今までの問題の中でこの正答率が学生では最も高い(83%)ものでした。もちろんみなさんも、この選択肢の中から選ぶと正解は C であると答えるでしょう。単純に二酸化炭素が大気中で増加すれば地球は温暖化するでしょう。政治的にも経済的にも、二酸化炭素が犯人だということが常識になっています。ただし、そもそも温暖化そのものが人間による二酸化炭素排出量の増大が原因か、という部分に関してはまだ科学的な証明が不十分な仮説だと考える専門家がいることも事実です。

さて、今年の夏に大分県の小中学校の先生 30 名 ( 多くは理科の先生 ) に 1 問だけ答えてもらう機会がありました。問題はこうです。

地球に近い順に以下の 6 つを記号で並べてください。

- a. オリオン座      b. 土星      c. 太陽      d. 月      e. 銀河

これは第 7 回 ( 古い話で恐縮ですが、おそらく 2007 年発行の会誌 ) でご紹介した大学生にした問題とよく似ています。宇宙をいかに正しく認識しているか、ということです。そして、残念ながら予想通り大学生の正答率とほぼ同じく、正答者は 50%には達しませんでした。あなたははどうでしょうか。間違えた人が多かったのは、おそらく先入観によるものなのでしょう。最近読んだ本にこうありました。『よちよち歩きの子どもが、キラキラ光る小さなものを握ったら放さないように、わたしたちは無意識のうちに、子どもころの思い込みにしがみつく。新しい知識が増えても、知らなかった考え方を知っても、いつまでも第一印象に振りまわされてしまう。.. ( 中略 ) ..でも、自分の脳をきちんと見つめなおしてほしいと思う。』 ( 「ナタリー・アンジェが魅せるビューティフル・サイエンス・ワールド」 近代科学社 p.70-71 ) 先入観を乗り越えるには努力が必要なのですね。